

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	資料収集整理事業 (630301)			担当課	図書館		
	開始年度	昭和21(1946)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	浅田 久子		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)図書館費	決算附属資料	256	頁	
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	-		
	施策名	図書館活動を充実させる			根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	資料の収集は図書館の根幹である。利用者の学習意欲や知る権利を満たすべく、資料収集方針に則り、計画的に資料を購入し、幅広い分野から多数の図書を所蔵する。特に子どもの読書活動推進計画に沿って、絵本や児童書を充実させ子どもたちがより読書に親しめる環境づくりを促進する。 郷土資料など地域の情報を整理保存して「地域の情報ステーション」となるとともに、通勤・通学・商業の拠点として三たん地域の住民の需要に応える蔵書規模を確保し、図書館利用による福知山への集客を促進する。						
	対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)(三たん地域在住者)	対象者数	78,000	一人当たりコスト	0.51		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 株式会社図書館流通センター						
	事業概要	中央館及び三和分館・夜久野分館・大江分館の地域に根ざした特色ある図書館づくりを進めるため、地域の情報、保存すべき資料、閲覧・貸出ニーズの高い資料を収集する。 所蔵資料を検索・閲覧・貸出可能な有用な状態に整理する(ICタグにより電子情報と結び付ける)。利用者が望む資料にたどり着けるよう、展示方法を工夫し、案内し、調査の支援を行う。						
	主な経費と具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		新聞29紙・雑誌233種購入経費			3,472	
委託料		書誌データ及びICタグ作成業務委託料			2,309			
使用料及び賃借料		オンラインデータベース4種を利用可能とする使用料			1,217			
備品購入費		資料(一般書・児童書・絵本等)14,447点購入			20,093			
関連事業	中央館運営事業、分館運営事業(三和・夜久野・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業(図書館)							
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		27,261	27,128	27,057	23,368	
		補正予算・・・②		18	164	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		17,334	17,092	16,834	12,268	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		9,945	10,200	10,223	9,665	
	職員人件費	特定財源名称 (H29実績)	佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金		10,200	基金繰入金	38 頁	
		従事職員数(正職/嘱託)		1.09/1.38	1.10/1.53	1.10/1.53	/	
概算人件費・・・④			12,170	12,625	12,625			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			39,449	39,917	39,682			
執行状況	執行額・・・⑥		27,279	27,091				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	99.3%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		年間来館者数(全館)	人	277,639/290,000	265,334/300,000	/330,000	330,000	
		実利用人数(貸出人数 移動分除く)	人	11,983/12,000	11,797/12,100	/12,200	12,200	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		年間資料貸出冊数(全館)	冊	640,359/520,000	634,336/540,000	/600,000	600,000	
		蔵書点数(全館 寄贈受入含む)	点	279,676/279,000	287,148/288,000	/297,000	315,000	
単位あたりコスト			0.0	0.0				
単位あたりコスト			0.1	0.1				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	より魅力的な図書館を目指すために、新鮮で豊富な資料が必要であり、蔵書や利用の状況を見ながら継続的に収集していくことで、多くの市民に利用いただけるものとする。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	人口に比較して、図書館登録・利用者の割合がもっと増えることが望ましい。市内の分館や京都府内の図書館と本を流通させて有効活用している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	新中央館の新館効果が薄れて定着期に入っているため、現状のままでは目標達成は困難である。新たな利用者を図書館に呼び込むため継続的な取り組みが必要。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>本事業は図書館の本質にかかわる事業であり、蔵書の充実度や構成は指標(来館者数・貸出冊数)に確実に影響する。しかし影響は即座に現れず数年程度の遅れがあると思われる。</p> <p>3年前に完成した新中央館の新館効果と書架の大幅な拡大により利用が増えたが、本年度は横ばいの傾向であり、新規利用者が増えないと今後は減少傾向が予想される。</p> <p>一方、利用者一人当たりの貸出数は増加傾向で利用者満足度は高いと感じられ、さらに三たん地域の住民による利用が増加していることから、通勤・通学・買い物で本市を訪れる方の集客に一定の効果が認められる。</p>	
	今後の課題及び方向性	<p>市民の新規利用者が増えるよう、他事業と連携した取組みや情報発信の工夫や強化が必要。</p> <p>有用で保存価値のある資料、地域資料を充実させるとともに、地域や世の中の流れに沿ったニーズの高い資料をタイムリーに提供するなど、利用者の多様なニーズに応える蔵書を構成する。</p> <p>来館者が適切な資料を探し当てられるよう、図書館からのお勧めを充実させる。</p> <p>大学図書館との連携の可能性を探り、公立大学新入生を図書館の利用者に取り込むことで新規利用者増加と図書館の新たな方向性を探りたい。</p>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分  <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内容  スポンサー制度による雑誌購入費の縮減及び、図書資料購入数の見直しにより、△3,689千円の減とした。 また、タイムリーな話題や他課が行うイベント等に合せた本の企画展示を実施し、同時に情報発信を効率的に進めることで、新たな図書館ファンの開拓及び図書館の魅力向上に努めている。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)  <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	中央館運営事業 (630302)			担当課	図書館		
	開始年度	昭和21(1946)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	浅田 久子		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)図書館費	決算附属資料	256	頁	
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	-		
	施策名	図書館活動を充実させる			根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公立図書館として、図書館中央館において安定した図書館サービスを提供し、市民にとって地域の情報収集や知識習得の場として、魅力ある図書館として運営していくことを目的とする。						
	対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)三たん地域在住者	対象者数	78,000	一人当たりコスト	1.09		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 (公社)福知山市シルバー人材センター、NECネクサソリューションズ(瀬関西支社 外)						
	事業概要	利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努め、図書館機能を充実する。 関係機関・関係団体と連携し、北近畿の中核となる図書館サービスの拡充を図る。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		賃金		臨時職員雇用経費			22,552	
需用費		図書用消耗品、移動図書館車燃料費等			2,658			
委託料		図書館情報システム及び機器保守料等			8,563			
使用料及び賃借料		図書館情報システム使用料、複写機使用料等			3,787			
報酬 外		図書館協議会委員報酬 外			1,344			
関連事業	資料収集整理事業、分館運営事業(三和・夜久野・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業(図書館)							
予算と執行の 状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①	38,945	41,497	39,934	37,440		
		補正予算・・・②	△ 178	1,419	0	0		
		繰越し等・・・③	0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源	38,643	42,767	39,785	37,273		
		国支出金	0	0	0	0		
		府支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他特財	124	149	149	167		
	特定財源名称 (H29実績)	コピー代		90	諸収入	44 頁		
		利用券再交付料		70	諸収入	44 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	4.56/2.48	4.66/1.97	4.66/1.97	/		
概算人件費・・・④		42,680	42,205	42,205				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		81,447	85,121	82,139				
執行状況	執行額・・・⑥		36,427	38,904				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		94.0%	90.7%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		年間来館者数	人	250,896/262,300	238,778/272,300	/302,300	302,300	
		実利用人数(貸出人数 BM除く)	人	11,983/12,000	11,797/12,100	/12,200	12,200	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		年間資料貸出冊数	冊	581,304/459,000	574,677/479,000	/539,000	539,000	
		単位あたりコスト		0.1	0.1			
			/	/				
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・福知山市民だけでなく、三たん地域の利用者のニーズは高い。 ・バリアフリー資料、障がいのある人への読書支援の充実は、民間事業者では厳しい。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・市民の人口に比較して、図書館登録・利用者の割合が増えることが望ましい。 ・分館や京都府内の図書館と本を流通させて有効活用している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・新中央館の新館効果が薄れて定着期に入っているため、現状のままでは目標達成は困難である。新たな利用者を図書館に呼び込むため継続的な取り組みが必要。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	新中央館開館から5年目となり、新館効果が薄れていることから、来館者・貸出冊数とも減少傾向にある。ただし来館者数に比べて貸出冊数の減少が緩やかであることから、利用者一人当たりの貸出冊数は維持できていると考える。今後においても、利用者にとってよりよい図書館となるよう、資料収集、窓口サービス、各種イベントの実施等について、さまざまなニーズに対しきめ細やかに応えていくことが必要と考える。	
	今後の課題及び方向性	市民の新規利用者が増えるよう、他事業と連携した取組みや、情報発信の工夫や強化が必要。利用者にとって居心地のよい読書空間を提供するため、わかりやすい資料の展示や丁寧な案内に心がけ、様々なニーズに対しきめ細やかに応えながら、館内環境の充実を図っていく。職員研修を定期的に行うとともに、外部研修を受講することで専門性を高め、地域の情報ステーションとして質の高い図書館サービスを提供する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分  <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容  賃金・需用費等を一部見直し、△2,494千円の減とした。 また、他部署や他団体と連携したイベント・企画展示を行うとともに、地域の情報ステーションとして質の高い図書館サービスの提供に努めている。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)  <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	三和分館運営事業 (630303)			担当課	図書館		
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	浅田 久子		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)図書館費	決算附属資料	256	頁	
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	-		
	施策名	図書館活動を充実させる			根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公立図書館として、図書館三和分館において安定した図書館サービスを提供し、地域住民にとって地域の情報収集や知識習得の場として、魅力ある図書館として運営していくことを目的とする。						
	対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)三たん地域在住者	対象者数	78,000	一人当たりコスト	0.06		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努め、図書館機能を充実する。 関係機関・関係団体と連携し、地域の拠点施設としての図書館サービスの拡充を図る。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		賃金		臨時職員雇用経費			1,684	
旅費		職員研修旅費			2			
需用費		図書用消耗品			17			
役務費		通話料、インターネット回線			120			
使用料及び賃借料		電子複写機賃借料			86			
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(夜久野・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業(図書館)							
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		2,082	2,082	2,062	2,062	
		補正予算・・・②		160	0	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		2,242	2,082	2,062	2,062	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	0	0	0	
	職員人件費	特定財源名称 (H29実績)					頁	
							頁	
従事職員数(正職/嘱託)		0/0.9	0.08/0.75	0.08/0.75	/			
概算人件費・・・④		2,250	2,515	2,515				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			4,492	4,597	4,577			
執行状況	執行額・・・⑥		2,112	1,909				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		94.2%	91.7%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		年間来館者数	人	5,438/5,500	5,924/5,500	/5,500	5,500	
				/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		年間資料貸出冊数	冊	14,004/15,000	14,990/15,000	/15,000	15,000	
		単位あたりコスト		0.2	0.1			
			/	/				
	単位あたりコスト							



		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・福知山市民だけでなく、三たん地域の利用者のニーズは高い。 ・地域の特色を生かした図書館の運営は、民間事業者では厳しい。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・市民の人口に比較して、図書館登録・利用者の割合がもっと増えることが望ましい。 ・市内の分館や京都府内の図書館と本を流通させて有効活用している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・利用者は微増傾向であり、ほぼ目標達成となった。さらに新たな利用者を図書館に呼び込むため継続的な取り組みが必要。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	地域の住民が減少している中で、来館者数は前年を上回っており評価できる。 年間貸出冊数もほぼ目標に達しており、今後さらに利用者一人あたりの貸出冊数を増加することが課題である。 地域の情報収集や知識習得の場として、三和分館は欠かせないものである。 今後も引き続き、分館の特色を生かした図書館づくりを進めるとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者ニーズを把握し、それに応えていくことが大切であると考えます。		
今後の課題及び方向性	より多くの利用者に来館いただき、利用者一人あたりの貸出冊数を増加するために、利用者の興味を引きつけるための展示や特集を行うなど、具体的な方策の検討が必要である。 他部署や各種団体と連携してイベント等に出向くなど、分館のPRを強化し、読書活動の推進を図る。			
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<b>【H29棚卸しに係る見直し状況】</b> 公民館等と行事の検討を行った結果、「三和こどもまつり」への参加や、三和子育て支援センターでの出張おはなし会など、地域に根差した取組を進めている。 郷土資料の収集については、地域住民からの寄贈を含め、地域の情報を収集しながら随時進めている。 両事業とも、来年度も引き続き継続して実施する。	
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	夜久野分館運営事業 (630304)			担当課	図書館		
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	浅田 久子		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)図書館費	決算附属資料	256	頁	
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	-		
	施策名	図書館活動を充実させる			根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公立図書館として、図書館夜久野分館において安定した図書館サービスを提供し、地域住民にとって地域の情報収集や知識習得の場として、魅力ある図書館として運営していくことを目的とする。						
	対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)三たん地域在住者	対象者数	78,000	一人当たりコスト	0.08		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 榊堀通信						
	事業概要	利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努め、図書館機能を充実する。関係機関・関係団体と連携し、地域の拠点施設としての図書館サービスの拡充を図る。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		賃金		臨時職員雇用経費			3,429	
需用費		図書用消耗品			178			
役務費		通話料、インターネット回線			80			
委託料		電子複写機保守料			83			
旅費		職員研修旅費			13			
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(三和・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業(図書館)							
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		3,932	3,932	3,907	3,741	
		補正予算・・・②		0	75	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		3,932	4,007	3,907	3,741	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	0	0	0	
	職員人件費	特定財源名称 (H29実績)					頁	
							頁	
従事職員数(正職/嘱託)		0/0.9	0.08/0.75	0.08/0.75	/			
概算人件費・・・④		2,250	2,515	2,515				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			6,182	6,522	6,422			
執行状況	執行額・・・⑥			3,744	3,783			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			95.2%	94.4%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		年間来館者数	人	13,382/14,500	12,503/14,500	/14,500	14,500	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		年間資料貸出冊数	冊	25,739/26,000	24,695/26,000	/26,000	26,000	
		単位あたりコスト		0.1	0.2			
				/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・福知山市民だけでなく、三たん地域の利用者のニーズは高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	・利用者ニーズにきめ細やかに応え、地域の特色を生かした図書館運営を行っている。
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・地域の人口が減少する中で、周辺地域の図書館利用者が増えることが望ましい。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	・中央館・他分館や京都府内の図書館と本を流通させて有効活用している。
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・利用者・貸出冊数とも減少傾向にあり、現状のままでは目標達成は困難である。新たな利用者を図書館に呼び込むため継続的な取り組みが必要。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	地域の住民が減少している中で、来館者数・貸出冊数とも目標に達しておらず、利用者の増加、利用者一人あたりの貸出冊数を増加することが課題である。 地域の情報収集や知識習得の場として、夜久野分館は欠かせないものである。 今後も引き続き、分館の特色を生かした図書館づくりを進めるとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者ニーズを把握し、それに応えていくことが大切であると考えます。	
	今後の課題及び方向性	より多くの利用者に来館いただき、利用者一人あたりの貸出冊数を増加するために、利用者の興味を引きつけるための特集展示を行うなど、具体的な方策の検討と実行が必要である。 他部署や各種団体と連携して各種イベント等に出向くなど、分館のPRを強化し、読書活動の推進を図る。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	賃金を△166千円の減とした。 【H29棚卸しに係る見直し状況】 公民館等と行事の検討を行った結果、公民館まつりと連携した「図書のリサイクル市」や、ボランティアさんと連携した「大人のためのおはなし会」を実施するなど、地域に根差した取組を進めている。 郷土資料の収集については、地域住民からの寄贈を含め、地域の情報を収集しながら随時進めている。 両事業とも、来年度も引続き継続して実施する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		



平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	大江分館運営事業 (630305)			担当課	図書館		
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	浅田 久子		
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)図書館費	決算附属資料	256・258	頁	
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	-		
	施策名	図書館活動を充実させる			根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公立図書館として、図書館大江分館において安定した図書館サービスを提供し、地域住民にとって地域の情報収集や知識習得の場として、魅力ある図書館として運営していくことを目的とする。						
	対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)三たん地域在住者	対象者数	78,000	一人当たりコスト	0.06		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努め、図書館機能を充実する。 関係機関・関係団体と連携し、地域の拠点施設としての図書館サービスの拡充を図る。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		賃金		臨時職員雇用経費			1,768	
		備品購入費		ブックトラック			98	
役務費		通話料、インターネット回線			96			
使用料及び賃借料		電子複写機賃借料			83			
需用費 外		図書用消耗品 外			35			
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(三和・夜久野)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業(図書館)							
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①	2,064	2,064	2,038	2,038		
		補正予算・・・②	0	46	0	0		
		繰越し等・・・③	0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源	2,064	2,110	2,038	2,038		
		国支出金	0	0	0	0		
		府支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0		
	職員人件費	特定財源名称 (H29実績)				頁		
		従事職員数(正職/嘱託)	0/0.9	0.08/0.75	0.08/0.75	/		
		概算人件費・・・④	2,250	2,515	2,515			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		4,314	4,625	4,553				
執行状況	執行額・・・⑥		1,994	2,080				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		96.6%	98.6%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		年間来館者数	人	7,923/7,700	8,129/7,700	/7,700	7,700	
				/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		年間資料貸出冊数	冊	19,312/20,000	19,974/20,000	/20,000	20,000	
		単位あたりコスト		0.1	0.1			
			/	/				
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・福知山市民だけでなく、三たん地域の利用者のニーズは高い。 ・地域の特色を生かした図書館の運営は、民間事業者では厳しい。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・市民の人口に比較して、図書館登録・利用者の割合がもっと増えることが望ましい。 ・市内の分館や京都府内の図書館と本を流通させて有効活用している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・利用者数、貸出冊数ともに増加傾向にあることは評価できる。新たな利用者を図書館に呼び込むため継続的な取り組みが必要。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	来館者数、年間貸出冊数ともに増加傾向であり、目標を上回っていることは評価できる。 地域の情報収集や知識習得の場として、大江分館は欠かせないものである。 今後も引き続き、分館の特色を生かした図書館づくりを進めるとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者ニーズを把握し、それに応えていくことが大切であるとする。	
	今後の課題及び方向性	来館者数は増加傾向にあるものの、より多くの利用者に来館いただくために、具体的な方策の検討と実行が必要である。 他部署や各種団体と連携して各種イベント等に出向くなど、分館のPRを強化し読書活動の推進を図る。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<b>【H29棚卸しに係る見直し状況】</b> 公民館等と行事の検討を行った結果、公民館や児童館、子育て支援センターでの出張おはなし会など、地域に根差した取組を進めている。 郷土資料の収集については、地域住民からの寄贈を含め、地域の情報を収集しながら随時進めている。 両事業とも、来年度も引き続き継続して実施する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業 (630308)			担当課	図書館	
	開始年度	平成6(1994)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	浅田 久子	
	歳出費目	款)教育費	項)社会教育費	目)図書館費	決算附属資料	258	頁
	施策の大綱	生涯学習の推進			関連計画等	第2次福知山市子どもの読書活動推進計画	
	施策名	図書館活動を充実させる			根拠法令等	図書館法	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	読書活動の普及・図書館活動への理解と利用促進につなげるため、講座・講演会・研修会等の事業を実施することで、すべての市民に読書の楽しみを届け、学習機会を提供する。					
	対象者	乳幼児から大人まで	対象者数	78,000	一人当たりコスト	0.15	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>					
	事業概要	講座・講演会等事業としては、子ども向けには図書館内や出張の各種おはなし会やワークショップ、大人向けには読みきかせのボランティア養成講座や講演会・研修会等を開催する。 また、平成30年度より、健康推進課から所管替えとなったブックスタート事業を実施する。4か月健診時に絵本をプレゼントするとともに、ボランティアさんによる読みきかせを親子で体験してもらうことにより、家庭での読みきかせにつなげる。					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費
		報償費		講座・講演会等講師謝礼			188
需用費		パネルボード、図書カード等おはなし会活動物品費			45		
役務費		ボランティア養成講座講師派遣料、ボランティア保険料			65		
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(三和・夜久野・大江)(図書館)						
予算と執行の 状況	区分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①	1,593	569	1,673	1,528	
		補正予算・・・②	15,540	0	0	0	
		繰越し等・・・③	0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源	18	55	65	93	
		国支出金	0	0	0	0	
		府支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	17,115	514	1,608	1,435	
	特定財源名称 (H29実績)	佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金		265	基金繰入金	38	頁
							頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	1.11/0.9	1.00/1.25	1.00/1.25	/	
概算人件費・・・④		11,130	11,125	11,125			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		28,263	11,694	12,798			
執行状況	執行額・・・⑥		15,588	298			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		91.0%	52.4%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		保護者による10か月児への読みきかせ実施率	%	84 / 90	94 / 90	/90%	90%以上
		図書館の児童書・絵本貸出冊数増加率	%	350,488/ 346,888	352,540/350,488	/352,540	前年比5%増
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		おはなし会等実施回数	回	159 / 180	194/ 180	/180	180
		単位あたりコスト		98.0	1.5		
			/	/			
	単位あたりコスト						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・民間事業者でも事業者負担で実施することは可能だが、ほとんど実施されていない。 ・実績のある講師を招くことで、ボランティアの学習機会を確保している。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・読みきかせやボランティアの裾野を広げるため、養成講座を開催している。現在、図書館で開催しているおはなし会の約半数は、ボランティアの協力を得て実施している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標は、事業棚卸しを受けて見直した。 ・活動実績は、多くのボランティアさんの協力を得て、目標を達成した。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	「保護者による10か月児への読みきかせ実施率」から、乳児への読みきかせが一定着していることは、読書活動普及の点で評価でき、今後も継続させる取組を進めていく。 なお、児童書・絵本の貸出冊数も増加しているが、これを中央館のリニューアル効果で終わらせることがないよう、各種おはなし会参加者のニーズを把握し、利用者目線で事業を進めていく必要がある。 また、福知山市立図書館は、これまでの取組が評価され、平成30年度子供の読書活動優秀実践図書館の文部科学大臣表彰を受賞した。今後も、子どもたちが生涯にわたって読書・本を身近に感じ、楽しむことのできる取組を実施する。		
今後の課題及び方向性	平成28年2月に策定した「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」に基づき、図書館が主体となって子どもと本を結びつける取組（おはなし会等）を進めるとともに、子どもと本の出会いに不可欠な大人への啓発（ボランティア養成講座・講演会等）を実施する。			
庁内及び外部による評価	二次評価（庁内） 【行革担当課記入】	所見		
	三次評価（外部） 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分  <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内容  講演会事業等を見直し、△145千円の減とした。 読みきかせボランティアさんとの連携をさらに進め、魅力ある図書館行事の実施を維持するよう進めている。図書館職員による人形劇を行う等、職員のスキルアップによりお客様サービス向上に努めている。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況（対H30）  <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	